


I C T 授業実践例（農業・水産）

1 対象学科・学年・人数	情報通信科 2年生 37名	
2 科目・单元名	電気理論2	マイクロ波と半導体素子
3 使用したICT機器	書画カメラ, プロジェクタ	
4 活用のねらい	周波数帯やハンディ無線機の操作を理解させるために書画カメラを利用する。	
5 ICT活用の場面	学習内容・活動	ICT活用の場面
	周波数帯区分を理解する。	周波数帯表を書画カメラで投影する。
	ハンディ無線機の操作や機能を理解する。	ハンディ無線機の操作や無線機の画面表示を生徒に分かりやすく、説明するためにスクリーンに投影する。
6 ICT活用のポイント	<p>ハンディ無線機の実物を書画カメラでプロジェクタに投影することで、液晶画面や操作する場所を拡大し、分かりやすく説明することができる。</p> <p style="text-align: center; color: white; background-color: red; padding: 5px;">デジタル教材</p>	
7 生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクタが新鮮であり、実物を見たり実際に機器を使ったりしたため、文章だけの説明よりも分かりやすかったと意見があった。 	
8 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクタで授業をすると字の薄さや光の反射で黒板が見えないという意見や、プロジェクタや黒板がとても見にくいという意見がやや多かったので、見やすくするための工夫が必要がある。 ・教室で行う際、プロジェクタや書画カメラなどの準備の時間を短縮する工夫が必要である。 	